

まじは!!

「つらい務め」

「天の下で起こるあらゆることを、知恵によって探究しようと心を尽くした。

これは神が、人の子らに与えて労苦させるつらい務めであった。」

(コヘレトの言葉 第1章12～18節・旧約聖書1019頁)

はじめに

ヘブライ語で集会を QHL(カハール)、その集会で語る者を QHLT(コヘレト)と呼んでいました。つまり説教者です。今回は、会衆に向かい、コヘレトは何を語りたかったのかを探り、会衆の一人として、そのメッセージを受け止めたいと思います。

コヘレトとは誰か

当時のイスラエルは神殿礼拝が中心でしたが、箴言にもあるように、神への礼拝、信仰の継承は家長がその責任を担っていました。それが集会の原型です。冒頭でコヘレトが「エルサレムの王」と名乗っており、王国の家長である王が、子である国民に語ったものとわかります。12節からの内容を見ても、このコヘレトはソロモンでしょう。ただ、ソロモンは神から知恵や富など、これ以上ないほどの祝福に預かった人物であり、誰もがうらやましくなるような幸福な状態であったはずですが、この書には「一切は空」「深まる悩み」「労苦」といった言葉が目立つのです。なぜなのでしょう。

つらい務め

コヘレトは私たちには「つらい務め」が与えられていると言っています。確かに、立場によっても異なりますが、私たちには毎日つらい務めが生じています。ここでコヘレトにつらい思いをさせているのはなんと「天の下で起こるあらゆることを、知恵によって探究しようと心を尽くした」ことでした。これが、神が私たちに与えて労苦させるつらい務めだったと言います。

世の中を知るために日々努力して学問を積む。これならばつらい務めにはなりますが、ご存じのように、ソロモンは空前絶後の「知恵に満ちた聡明な心」を与えられています。ところが、「知恵が深まれば、悩みも深まり、知識が増せば、傷みも増す」(1:18) ことになった。与えられた知恵が苦痛をもたらしたのです。

「神の知恵」

ヨブが「主を畏れること、これが知恵である。悪を離れること、これが分別である」(28:28)と言っています。確かに、ソロモンが知恵を与えられた後、その知恵によって難問を裁いた記事が紹介されているのですが、そのまとめのよう「(この裁きによって)人々は皆、王を畏れ敬うようになった。裁きを行う神の知恵を王の内に見たからである」(列王上 3:28)とあるのです。

つまり、コヘレトがここで語りたかったのは、自分が与えられた神からの知恵とは、人間の賢さではない。もし自分の賢さや経験値、この世で言う知恵に頼るならば、毎日起こる状況を分析し、自分の生き方を探っても解明にはつながらず、悩みが深まるばかりだということなのです。私たちは何を求めるべきなのでしょう。 「主を畏れる」姿勢です。コヘレトであるソロモンが神から授かった知恵とは、神を畏れる姿勢でした。だから、「神を畏れ、その戒めを守れ」それが、今語ってきたことの結論であると言ったのです (12:13)。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



今週の祈り

「私コヘレトは、エルサレムでイスラエルの王であった。天の下で起こるあらゆることを、知恵によって探究しようと心を尽くした。これは神が、人の子らに与えて労苦させるつらい務めであった。」(コヘレトの言葉 1:12～13)

「わが子よ、これ以外のことに注意せよ。書物はいくら記しても果てしなく 体はいくら学んでも疲れるばかり。聞き取ったすべての言葉の結論。神を畏れ、その戒めを守れ。これこそ人間のすべてである。」(コヘレトの言葉 12:12～13)



私は毎日を一生懸命に生きようとしていますが、どうしたらよいか分からなくなることがあり、賢明にいろいろな方法を探ってきました。

また自己研鑽も欠かさずに行って、なんとか解放されたいと思っていました。しかし、あのソロモン王が、それはつらい務めであり、自分が疲れるだけ、また悩みも深まっていくばかりなのだと言っていることを知りました。大切なことは、神の知恵を求め、それによって生

き、神がなされることに一切を委ねて生きることなのだと知りました。感謝します。御名によってお祈りいたします。アーメン。

深読みにチャレンジ！

箴言 (51) 第3章11～12節

*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「子よ、主の諭しを拒むな。主の懲らしめをいとうな。子をいとおしむ父のように 主は愛する者を懲らしめる。」

◎口語訳 「わが子よ、主の懲らしめを軽んじてはならない、その戒めをきらってはならない。主は、愛する者を、戒められるからである、あたかも父がその愛する子を戒めるように。」

◎新改訳 「わが子よ。主の懲らしめをないがしろにするな。その叱責をいとうな。父がかわいがる子をしかるように、主は愛する者をしかる。」

「そうすれば」

トランプ大統領は、自分の気に入った人物を側近や要職に任じて物議を醸しています。前期では、自分のやり方に異を唱え、またいさめただけでも解任されていました。あまりにもあからさま、しかも際限を知らないような手法は批判を浴びても当然です。ですから、彼の周りにはイエスマンばかりです。これはかなり危険な状況と言えるでしょう。

ここで取り上げられている、「諭し」「懲らしめ」は、その内容、また結果を教えようとしているのではなく、なぜ諭しや懲らしめに耳を傾けるのか、その姿勢を教えようとしています。

子どもたちは親に叱られてばかりだと思うか

【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1～9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1～22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17～31:31)
 - a 知恵ある人の言葉 (22:17～24:34)
 - b ソロモンの言葉 (25:1～29:27)
 - c アグルの言葉 (30:1～33)
 - d レムエルの言葉 (31:1～31)

も知れません。しかし、子どもが嫌いでいじめているわけではありません(ただ最近ほとんどない親が多くなりましたが)。子どもへの愛情があるから、また、なんとか一人前に育てようと一生懸命だから、思わず口やかましくなるのです。愛情もなく、育てる責任を感じていなければ、何をしようと一切構わず、ほったらかしでかまわないわけですが、神は、私たちを黙って見ていられないほどに愛しておられるからこそ、あえて厳しい態度で接することもおありなのだと知るべきです。

聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りすることはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈祷課題」も祈る。

【月曜日】◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

民数記第8章24～25節「二十五歳以上の者は務めに就き、会見の幕屋における仕事に就く。だが、五十歳からはその仕事から身を引かなければならない。再びその仕事をしてはならない。」◆じゅうたんを持ったことがあるだろうか。良い物だと6畳分となると相当重くなる。幕屋の働きの中にはそういった重労働も含まれていた。だから50歳定年であつたのだろう。ただそれで何もなかったわけではなく、補助者として手助けをしたり、アドバイスをしていた。その人の賜物だけでなく、年齢に応じてすべきことがある。それを果たして教会が動くのだ。

●賛美／256 ●祈祷課題

◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。
◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

【火曜日】◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

民数記第9章20節「雲が幕屋の上に数日の間しかとどまらないこともあったが、彼らは主の命によって宿営し、主の命によって進んだ。」◆神の民らはモーセの道案内で荒野を進んだのではなく、昼は雲の柱、夜は火の柱が上がり、柱が動けば昨日着いたばかりでも幕屋をたたんで移動し、留まれば1年でも2年でもそこに宿営した。自由気ままに生活をしていた民たちは、この時、神への従順を学んでいたのだ。黙示録に贖われた者は「小羊の行くころへは、どこへでも従って行く」(14:4)とある。不平不満を言わず、導かれた所で神のみわざを期待しよう。

●賛美／257 ●祈祷課題

◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a.、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

【水曜日】◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

民数記第10章8節「ラッパを吹くのは、祭司であるアロンの子らである。これは代々にわたって守るべきことしえの掟である。」◆ここでは出陣や警告、そして喜びの時の合図としてラッパが吹かれたとある。おそろく吹き分けをさせていただこう。民たちは20キロ四方に広がっている。周知は大変だったはずだ。しかし、そのラッパによって民たちは喚起され、出陣であるならば準備をし、侵略であるならば防御態勢を整え、祝いごとを共有し合った。神のメッセージにすぐに反応する姿勢を持たなければ、終わりの時に鳴り響くラッパに対応できなくなる。

●賛美／258 ●祈祷課題

◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように
◆宗教法人を取得できるように
◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

民数記第11章6節「今では、私たちの魂は干上がり、私たちの目に入るのは、このマナのほかは何もない。」◆荒れ野の生活が2年、3年と続くうちに、神の民たちは不満を口にするようになってきた。「欲心」はわがままになり、無い物ねだりをする。ことだが、神の養いをおろそかに受けていれば、「これしかないのか!」と文句が出るかもしれない。だが奇跡的に養われていることを忘れず、味わうことだ。感謝が出てくるだろう。マナは現代の私たちにとっては御言葉である。私たちは御言葉だけで生きるのだ。欲心を捨て、御言葉の養いを受けよう。

●賛美／259 ●祈禱課題
◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。
◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

民数記第5章7節「主はただモーセとのみ語られたのか。我々とも語られたのではないか」◆モーセはエジプト王宮で育ち、その後、ミデヤンの荒れ野に逃亡したため、ユダヤ人女性を妻に持つ機会を失っていた。それを承知していた親族なのに、姉と兄はそのことを批判し始めた。それは特別に選ばれた弟モーセに嫉妬したからだ。自分の主張を通そうとする時、本題とは違う事柄を持ってきて相手を批判し、おとしめようとすることは政治的によくあることだ。だがそれはサタンの手口でもある。結果、ミリアムはさばかれた。

●賛美／260 ●祈禱課題
◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるよう。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。
◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。
◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

民数記第13章30節「カレブは民を静め、モーセに向かって『私たちはぜひとも上って行くべきです。そこを手に入れましょう。私たちには必ずできます』と言った。」◆12部族からそれぞれ1人ずつ出て偵察隊が編制された。エジプトを脱出してから約2年、神が養い、導てくださったことだけでも奇跡である。そして目の前に約束の地が広がっているところまで来た。ところが、敵がいるから入れないと拒絶したのだ。カレブとヨシュアは、神の力を信じていた。私たちは告白したい。「イエスを主とあがめ、信じる者は必ず世に勝つ」。

●賛美／261 ●祈禱課題
◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。
◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

レビ記第14章19節「どうか、あなたの大きいなる慈しみのゆえに、また、エジプトからここに至るまでこの民を赦してこられたように、この民の罪を赦してください。」◆主はカレブとヨシュアへの祝福を約束されたが、他の民たちについては、その不信仰さゆえに疫病で滅ぼすと言われた。モーセはそれを聞き、「民たちを赦してください」と命がけでとりなした。私たちの信仰を見て、神は「いつまで私を侮るのか」と言われているはずだ。それを執り成して下さっているのは、永遠の大祭司、主だということをお忘れではない。

●賛美／262 ●祈禱課題
◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。
◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



おやこでせいしょ

●きょうのせいしょ

【ルカによるふくいんしょ 24:36~53】

「ふっかつされた イエスさまと」

(しとげんこうろく 3:15)

イエスさまは、おおくのひとたちの まえで
じゅうじかに かかり、しなれました。そして、
その ご いたいを たいせつに ぬのにつつん
で、まだ だれも つかっていなかった あたらしい
おはかに ほうむりました。

りっぽうがくしゃたちは、「『ふっかつする』
とっていただけると、そんなことは あるはず
がない。たぶん でしたちが はかに そっとき
て、いたいを ぬすみ、『ふっかつしました』と
うそをつくだらう。だから、ピラトそうとく
に たのんで、ローマの へいしに ばんをしても
らおう」。そうって、あさも よるも こうた
いで はかのまえに へいしに たってもらいま
した。

ところが、それでも イエスさまは だれも き
がつかないうちに ふっかつし、みんなが きが
ついたときには、はかは ひらいていて、イエ

スさまの いたいは なくなっていました。へい
しも きがつかなかったのです。

しんばいしてきた マリアたちは てんしに
イエスさまが ふっかつしたことを おしえても
らいました。でも、ほんとうに イエスさまは
ふっかつしたのでしょうか。そんな ふあんな
きもちでしたが、イエスさまは その ふっかつ
された おすがたで、みんなに であってくだ
さったのです。いっしょに おはなしし、いっ
しょに しょくじをし、じゅうじかに かかるま
えの イエスさまと おなじように すごすこと
ができました。イエスさまは ほんとうに ふっ
かつされたのです。

イエスさまが ふっかつされた おすがたを
おみせくださったのは、でしたちの しんこう
を つよめてくださるため、そして、イエスさ
まが ふっかつされたことを おおくのひとたち
に あかしするためでした。

わたしたちは かみさまが イエスさまをし
にんのなかから ふっかつさせてくださった こ
との しょうにんとなるのです。

●かんがえてみよう

☆でしたちが しょくじをしていたとき、イエスさまは どのようにして あらわれ
てくださいましたか。(ルカ24:36)

☆イエスさまは ふっかつされたことを わからせるために しょくじをさ
れました。なにをたべられましたか。(ルカ24:43)

☆イエスさまは せいしょの よげんを わからせるために、でしたちの こ
ろを どのようにされましたか。(ルカ24:45)



なむ聖書

もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりますが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

ちからをみにつける

				つ	ち	か	み	
か	け	ち	み	に	る			を
み	を	つ	ら	か				る
を			ち	み	か			つ
	か	け	つ		ら	み		に
ち	つ	み		け	に			か
	み	か	け					
つ	ち		に	る		け	か	み
	る		か		み	に		ら

ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。答えてください。

- ① てつじんげすべ
- ② さいたやなか
- ③ がふぎるし
- ④ とれひき

まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





牧師の 聖書 ななめ読み

「この花 なに？」

私は草花にはほとんど興味はなく、「きれいだなあ」と思って眺めていても、何という名前なのか、調べようとはしませんでした。いや、知りたいなと思ったことはなくはないのですが、いざ調べるとなると、植物図鑑を持って来なければならないし、図鑑を開いた所で何種類も同じような花が載っているので特定するまで時間がかかります。なので、調べないうちに諦めていたのです。

ところが、最近、スマホのアプリに花の名前が分

かるものがあるというので、インストールしてみました。使ってみると、今までとは風景の「厚み」というか、自然を身近に感じることができるようになりました。梅だろうなと思っていた花を写真に撮ると、「ボケ」と判定が出てきた時にはびっくりしましたし、「山吹」だと知って、これが「山吹色」なんだと感動したり、「こけもも」だとか「ひなげし」だとか、聞いたことはあっても、どの花か分からなかったもので、最近では、すぐにアプリを使うので、「これだったのかあ」の連続です。

写真を撮ると、判定はAIがしてくれて、70%などと、正確度を数値で示してくれるので、たいしたもんだと思います。聖書に出てくる花や植物も調べたくなってきました。

聖書ふれあい街歩き

●キティムの島々

神の民たちの神に対するとんでもない裏切りは、聞きしに勝るもので、「キティムの島々に渡って、こんなとんでもないことがあるのか、よく見てみる」と言われてしまっているのですが、このキティムは地中海の西方の島々、またその沿岸地域を指す言葉として用いられていました。

最初に登場するのは創世記 10 章（ノアの子孫表）で、ヤフェテの子孫やワンの子であるキティムとして記述されています。おそらくは、このキティムの子孫の定住地なのだと推測できます。そのキティム、具体的にはキプロス島にキティオンという港町があるのですが、そこを指すのではないかとの説があります。キプロス島そのものが独特の文化をもち、地中海、また沿岸地域に影響を与えたフェニキア文明の一大拠点で、キプロスから産出される銅、レバノンの杉材などはかなり重要となる交易品でした。ですから、キティムといった場合、交易で賑わう港町に様々な国の人たちが出入りしている、またその人たちとの交流がある社会を見ても、そんな常識的ではないことをしている民族はいないぞ、と指摘されたのだとの解釈が成り立ちます。

ななめ聖書 先週のこたえ

め	が	ふ	た	の	け	ひ	ら	り
ひ	の	ら	ふ	が	り	た	め	け
け	た	り	ひ	ら	め	が	ふ	の
の	り	け	が	め	ふ	ら	ひ	た
ら	め	た	け	ひ	の	ふ	り	が
ふ	ひ	が	り	た	ら	け	の	め
が	け	の	ら	り	ひ	め	た	ふ
り	ふ	ひ	め	け	た	の	が	ら
た	ら	め	の	ふ	が	り	け	ひ

①せいしょぜんたい

②しょくじのせき

③くらいかお

④くれおば



法廷に引き立てられたパウロ

ガリオンがアカイア州の総督であった時のことである。ユダヤ人たちが一団となってパウロを襲い、法廷に引き立てて行って、『この男は、律法に違反するようししかたで神を崇めるようにと、人々を唆しています』と言った。

パウロが話し始めようとしたとき、ガリオンはユダヤ人に向かって言った。『ユダヤ人諸君、これが不正な行為や悪質な犯罪であるなら、当然諸君の訴えを取り上げるが、問題が教えとか名称とか諸君の律法に関するものならば、自分たちで解決するがよい。私は、そのようなことの審判者になるつもりはない。』そして、彼らを法廷から追い出した。

すると、皆は会堂長のソステネを捕まえて、法廷の前で打ち叩いた。しかし、ガリオンはそれに全く心を留めなかった。

(使徒言行録18:9～17)



ローマの裁判風景

【内輪もめ？】

パウロの宣教は、時に強引とも思える手法で押し進められていったため、その分、風当たりも強く、これまでも、特にユダヤ人たちとの間で騒動を引き起こしてきました。このコリントでも、ユダヤ人たちが「一団」となってパウロを襲ったとあります。

ユダヤ人たちからしたら当然です。すでに「異端」とされていたキリストを信じる信仰を、その異端に改宗してしまったパウロが自分たちのコミュニティに持ち込んで、会堂長を務めていたクリスポの他に数人(おそらく)を改宗させ、平穏だったコミュニティを荒らしたのです。さらに、ユダヤ人会堂の隣家だったと考えられるティティオ・ユストの家が「コリント教会」になり、そちらのほうに、たくさんの人が集まってくるのです。彼らに取ったら悔しいやら、妬ましいやら。もう気持ちが収まらず、パウロを襲って、そのまま総督ガリオンのもとに連行していったのでした。

結局、ガリオンはその訴えに耳を貸しませんでした。彼らが次に取った行動が不可解です。取り合ってもらえない腹いせに、新しく会堂長にした「ソステネを捕まえて、法廷の前で打ち叩いた」のです。

「法廷の前」とあるところから、ユダヤ人たちは、ガリオンに門前払いされたことで、コリントの人々に対し、面目が立たなかった。つまり、自分たちの立場を全否定されたわけですが、ここですごくごと帰ってしまったら、それこそパウロの教えが聖塔であると思われてもおかしくない状況でした。そこで、自分たちの教えは間違っていない、この会堂長が、不始末を犯したのだと言い出

して、門前払い事件を会堂長の責任にし、コリントの人たちに対する印象を幾分たりとも挽回しようとしたのではないかと考えられます。

この事件の流れから言えば、ギリシア人が介入することは考えにくく、ユダヤ人たちの内輪もめとしか映らなかったでしょう。

もう少し、違う解釈を持ち込むとしたら、門前払いされてもさらにユダヤ人がガリオンに食い下がろうとして、法廷前から退去することを拒んでいた状況で、会堂長になったソステネが「これ以上、ここで騒ぎを起こしたら、私たちユダヤ人たちの評判が下がるだけではないか。」と妥協案を示したことで、頭に血が上っていた一部のユダヤ人が猛反発、「何言ってんだあ！おまえもパウロの仲間か！」と言ったことをきっかけに、誤解されてしまい、袋だたきに遭ってしまった、といった推測も成り立たなくはありません。

【総督の立場】

ガリオンがピラトと面識があったかどうか定かではありませんが、同じ「総督」の立場でした。それまでローマの属州に赴任し、経験を積んできたとも思いますが、その間、属州の中の各地で多くの事件が起こっていました。つまり、その判例も数多く出ていたわけです。それらを事例集としてまとめ、総督に就任、またはすでに就任している人物が見て、このケースはどうしたらいいのか、判断していたと考えることはできます。ガリオンはピラトの判例を学んでいたのでしょうか。見事なまでに混乱を回避しています。総督は、まだまだ上の地位を目指せます。ここで出世を終わらせてはならないとの思いが、この徹底的な門前払い行動を取らせたのだらうと思います。

キリスト教まるわかり Q&A

◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。

◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任せており、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が異なるため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

2025年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過ごすために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日を加え、守っています。

顕現節(1/6～#3/4)

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#3/2)として守ります。

四旬節(#3/5～#4/12)

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#3/5)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#4/13～#4/19)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#4/13)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/17)、十字架にかかれた受難日(#4/18)と過ごしていきます。

復活節(#4/20～#6/7)

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/20)から始まります。春分の日後の最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/29)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日 #6/1)となります。

聖霊降臨節(#6/8～#11/29)

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#6/8)から始

まり、三位一体主日(#6/15)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

待降節(#11/30～12/24)

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/21)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

降誕節(12/25～1/5)

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

【記念日】

母の日(5/11・5月第二)
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)
花の日(子どもの日・6/8・6月第二)
父の日(6/15・6月第三)
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)
宗教改革記念日(10/31・1517年)
収穫感謝日(11/23・11月第四)

【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・水)
成人祝福礼拝(#1/14・1月第二)
聖書愛読週間(#3/23～29)
みふみの日(3月23日)
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/27)
最後の晩餐集会(#4月17日夕)
召天者合同記念礼拝(#6/1・6月第二*今年は第一)
弾圧記念礼拝(#6月22日・26日前後の主日)
石出忠師記念礼拝(#7月6日・7月第一)
敬老祝福礼拝(#9/14・9月第三)
子ども祝福礼拝(#11/2・11月第一)
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・水)

教会紹介

●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙 2:5:17 など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙 2:19 ~ 20 など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記 15:26 など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙 1:5:51 など)

教会の信条

さがみはら 相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし 私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が終末と示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

MEMO

単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦

牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

